

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		コンビニ（エリア担当） 衣料品専門店（経営者）	・秋の観光客も順調に伸びると予想される。テロ等外的マイナス要因がなければ、コンビニとしては、団体よりも、個人観光客の方が恩恵を受ける。 ・ここ数か月間、来客数、販売量、単価等、特に変化は感じないが、全体的な雰囲気からは景気は少しずつ上向いているように感じる。
	変わらない	百貨店（担当者）	・主力の衣料品が、台風の影響を受けて、来客数が減少していることにより苦戦している。夏物処分から初秋へ展開を図ることにより9月以降の消費が維持されると判断されるが、絶対額の大きい夏物処分品の単価低下が今後も懸念される。
		コンビニ（経営者）	・この1年間を通して、客単価に変化はない。原油の価格が上がってきているが、それを加味しても特に変化はないと推察する。
		コンビニ（経営者）	・客の様子は明るい、財布のひもはまだ固い。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・観光客の入域はピークとなる9月までは好調に推移するものの、前年同月に比べると売上は減少しており、競争相手も増加していることから、利益の確保は今後も厳しい。
		高級レストラン（副支配人）	・今後の予約状況を見ると、昼の時間帯を含め今月よりは若干の増加がみられるが、例年との比較ではさほど上昇していないことから、特に変わらない。11、12月に期待し、イベント、企画等を考えているところである。
		観光型ホテル（商品企画担当）	・今後2、3か月はほぼ前年と同様か、若干下回る稼働率が想定されるが、販売単価の上昇で、売上はほぼ昨年並になる。 ・宿泊の集客状況から、前年同月と比較して大きな変化はないだろうが、度重なる県内や本土への台風の襲来でマーケットが停滞するのではないかと懸念がある。
		旅行代理店（経営者） 観光名所（職員）	・しばらくは、現状維持で推移する。 ・沖縄観光は沖縄ブームに支えられて好調となっており、今後も旅行環境に大きな変化はなく、好調さが当面は続く。
	やや悪くなる	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・10月以降は団体ツアーの増加に伴いホテルショップでの購入者は増加するが、観光客が全体的に減少すると見込めるため店舗への来客数は減少し、売上も減少する。
		スーパー（経営者）	・盆の時期のずれにより、前年同月比では売上は大幅に上昇しているが、先月後半に競合店の出店等があり、次月以降かなり厳しい状況になる。
		コンビニ（エリア担当）	・同業及び他業種の店舗出店により、客の分散化傾向がやや出てくる。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・現段階では地元客の来客数は増加しているが、原油高騰など値上がりに対する不安の声が多く、これからの仕入値の上昇、客の引締めが懸念される。
		住宅販売会社（従業員）	・沖縄県の景気は観光と公共投資で成り立っており、特に公共工事の削減は建設業界に大きな影響を与えており、今後、景気は悪くなる。 ・景気は回復傾向にあると言われているが、戸建ての住宅需要は停滞している。消費者自身が先行きに対してまだ不安感がぬぐえていない様子がうかがえ、金利の上昇や資材価格の高騰で一部の住宅価格の上昇もあったことから、慎重になっているのではないかと推察される。
	悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街においては、観光客の来客はあるものの、売上には結び付いていないとの声がほとんどで、外周部の大型店に日々、客が流れていることから、一般的な買い回り品を売っている店舗では毎月、来客数及び売上が下落している状況で、先が見えない状況にある。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	不動産業（支店長）	・成約への動きが出てきており、今後が期待される。
	変わらない	建設業（経営者）	・受注及び販売量が若干増えたとしても、原価の上昇や販売価格の下落で採算の悪化は変わらない。
		通信業（営業担当）	・法人向けの新サービスは予定されておらず、現行サービスでの増加は期待できない。
やや悪くなる	輸送業（営業担当）	・今後は観光客の入域数が低調となる。	

		通信業（従業員）	・弊社はIT関連企業ではあるが、ここに来て台風という自然現象の影響を受ける場合があることが見えてきた。台風の影響でインターネットの回線つまりインフラが安定しない場合があり、いつでも安心して使える安定的なインフラでないとならば、日常業務に溶け込むことは難しいことから、インフラ整備への支出が必要となれば、短期的に売上増加は見込めない。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当） 求人情報誌製作会社（営業担当）	・全体的な求人数が依然として好調に推移しており、今後も期待される。 ・周辺企業からの求人広告掲載件数は増えてきたが、求職者数の動きは良くない。しかし、企業は広告枠を広げたりとPR効果を拡大するために努力しており、旧益後はその効果が表れてくる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・観光産業の好調に伴い、県内産業全体への波及効果が今後も期待される。
	変わらない	職業安定所（職員）	・新規求職申込件数及び月間求職者数は、前年同月比で新規14.6%、月間有効4.5%とそれぞれ増加しており、過去6か月間の推移をみると新規、有効求職者とも増加傾向となっている。特に新規求職者申込件数においては、雇用保険受給者及び県外希望の求職者が増加している。また、新規求人数は前年同月比で22.2%増加しており、過去5か月間の推移をみると増加傾向となっている。今後も、改善の動きはみられるものの、求職、求人ともに増加で推移し、雇用情勢は依然として厳しい状況が続く。
		学校〔大学〕（就職担当）	・観光関連業の好調さは持続するものの、公共工事の落ち込みで建設業界の不振が予想され、景気の好転はあまり期待できない。さらに、中東情勢による石油製品の高騰も不安要素の一つとなっている。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-